

基本構想の実現に  
向けた第一歩

# 次世代 郊外 まちづくり 通信

## 次世代郊外まちづくり リーディング・プロジェクト(2013) を進めています！

「次世代郊外まちづくり基本構想」の実現に向けた第一歩として、2013年度は、8つのプロジェクトを「次世代郊外まちづくりリーディング・プロジェクト(2013)」に位置づけ、具体的な取り組みを進めています。

1. 住民創発プロジェクト —シビックプライド・プロジェクト—
2. 住民の活動を支える仕組みと場づくり
3. 家庭の節電プロジェクトとエコ診断
4. まちぐるみの保育・子育てネットワークづくり
5. 地域包括ケアシステム「あおばモデル」パイロット・プロジェクト
6. 暮らしと住まいのランドデザインの策定
7. 「コミュニティ・リビング」モデル・プロジェクト  
—企業社宅などの土地利用転換時における土地利用誘導—
8. 「次世代郊外まちづくり」建築性能推奨スペック策定  
—建物や施設に求められる性能や機能、建築推奨指針づくり—

2013年12月発行  
編集・発行

vol.8

横浜市・東京急行電鉄株式会社  
[連絡先] 横浜市建築局企画課  
☎045-671-3628



次世代郊外まちづくり通信は、「次世代郊外まちづくり」のさまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして多くの方々知ってもらおうためのニュースです。

リーディング  
プロジェクト  
その1

### 住民創発プロジェクト —シビックプライド・プロジェクト—

住民創発プロジェクトでは、自分のまちに愛着や誇りを持って行動していける企画を地域にお住まいの方やNPOをはじめとする活動団体、民間事業者の皆さまから広く募集し、横浜市と東急電鉄がその活動を支援しています。

9月21日の第1回講評会を経て、「住民創発プロジェクト支援部門」では、次世代郊外まちづくり認定プロジェクトとして5つの企画が認定され、活動がスタートしました！

また、「学びの活動支援部門」でも22企画が、企画の実施に向けた実施計画の作成などに取り組んでいます。

#### 「第2回講評会」を開催します

「学びの活動支援部門」を対象に、次世代郊外まちづくりの実現に資すると考えられるものを講評会にて選考し、「次世代郊外まちづくり認定プロジェクト」として実施を支援していきます。

講評会は、公開で開催しますので、皆さまのご参加をお待ちしています。

【日時】2014年1月18日(土)

12:00受付開始

13:00開会

申込不要

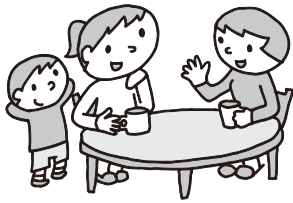
【場所】たまプラーザ テラス

プラーザホール by iTSCOM



## ▶住民創発プロジェクト支援部門 5企画

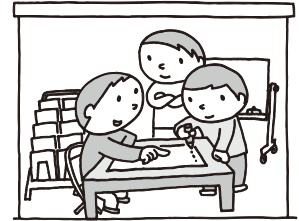
次世代郊外まちづくり基本構想の実現を目指す住民創発プロジェクトとして、認定されたプロジェクトを行っているグループです。



### ●美しが丘カフェ

子育て家庭と地域をつなぐ事から始める豊かなまちづくり

### ●たまプラーザ中央商店街+AOBA+ART たまプラナイトウォーク～光でつなげる街の輪～

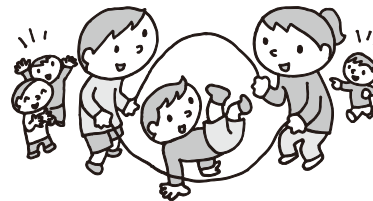


### ●交流の森

たまプラ型共創プラットフォームの構築

### ●3丁目カフェ 準備委員会

地域の皆さんが主役となる  
3丁目カフェ



### ●フラッシュモブ実行委員会

「たまプラー座だよ！全員集合！」まちの人たちでつくるオリジナルパフォーマンス（フラッシュモブ）の実行

まちのあちこちで、  
住民創発プロジェクトが進行中です！



つながり合う場がスタート！  
ラウンドテーブル  
2013.10.20



スマートライフ+(プラス)  
美しが丘カフェ  
「かんたんストレッチ」講座

2013.11.12



この街の育ち合いを日本中に！フラッシュモブ、大成功！  
2013.11.4



たまプラナイトウォークキャンドルワークショップ  
2013.11.24



## ▶学びの活動支援部門 22企画

学びの活動支援では、住民創発プロジェクトの企画づくりを支援しています。第2回講評会で住民創発プロジェクト支援部門を目指し実施計画づくりに取り組んで頂いているグループです。

※詳しくは、次世代郊外まちづくりホームページの  
住民創発プロジェクトの特設ページでご紹介しています。

▶ <http://jisedaikogai.jp/sohatsu/>

## 家庭の節電プロジェクトとエコ診断

地域住民に節電行動を呼びかけ、その第一歩を後押しするプロジェクトとして、今夏は「家庭の節電プロジェクト」と「家庭のエコ診断」を実施し、現在は「家庭の省エネプロジェクト(11・12・1月)」を実施しています。

### ●「家庭の節電プロジェクト(7・8・9月)」の成果

#### 【7・8・9月の合計】

申込数：245 世帯

前年比較：7,583kWh 減(平均 33kWh 減)3.2% 減

CO<sub>2</sub> 排出量：3.5t 減(平均 15kg 減)

杉の木換算：251 本分

※電力の CO<sub>2</sub> 排出係数：0.464kg - CO<sub>2</sub>/kWh とする

※杉の木換算係数：14kg/ 本とする

#### 対象地域全体に取り組みが 拡大した場合の削減量試算

合計=168,956kWh 減

CO<sub>2</sub> 排出量：78.4t 減

杉の木換算：5,600 本分

一般家庭の消費電力量  
約 200 世帯分に相当

※一般家庭の消費電力量：7~9月の3ヵ月間で842kWh

電気事業連合会電力需要実績の各月確報(東京電力従量電灯)より算出

### ●家庭のエコ診断の報告

「家庭のエコ診断」は、専門的な知識を持った診断員が、無料でご家庭のエネルギー使用状況を診断し、ライフスタイルに合わせたオーダーメイドの省エネ対策を提案するものです。この診断により、ご家庭で使われている電気機器やガス機器などのエネルギー使用量が「見える化」できると共に、各ご家庭に合った無理なく効果的に省エネを進めるためのメニューを知ることができます。



診断会を5回開催し、  
累計で120件の診断を実施

#### 全体的に診断内容に好評価!

(診断後の受診者感想)

- ・自分のエネルギー使用状況が平均と比較できる点
- ・実施検討しているエネルギー対策の効果有無を確認できる点
- ・ビジュアルもカラフルで見やすい点

### 電気自動車を活用したイベントを実施しました

12月7日(土)・8日(日)の2日間、たまプラーザ テラスにて、横浜市、東急電鉄および日産自動車による電気自動車を使ったイベントを実施しました。次世代郊外まちづくりが掲げる「既成市街地における生活者中心のスマートコミュニティ化」の一環として、電気自動車を切り口に、近隣にお住まいの方々が地域全体のスマートコミュニティ化を考えるきっかけを提供しました。

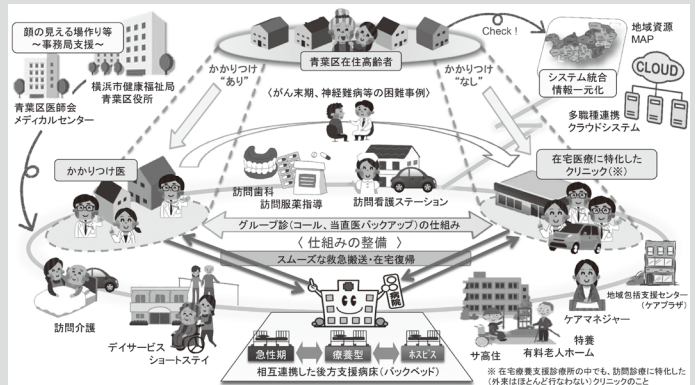
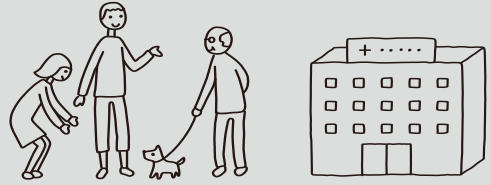


## 地域包括ケアシステム「あおばモデル」パイロット・プロジェクト

地域の医療・介護関係者の連携と参画、在宅医療の仕組みづくりなど、重要課題に取り組むパイロット・プロジェクトに着手しています。

### 「あおばモデル」7つのパイロット・プロジェクト

1. 医療・介護連携の「顔の見える場づくり」
2. 在宅医療リソースの増加へ向けた普及活動
3. 在宅患者向け病床確保の仕組みづくり
4. 在宅医同士のサポート体制のモデルの検討
5. 医療・介護の地域資源マップづくり
6. 在宅医療・ケアを実現する多職種連携の情報システムの検討
7. 地域住民への啓発活動や情報提供、相談窓口の検討



## 暮らしと住まいのグランドデザインの策定

2013年3月より有識者と横浜市、東急電鉄で立ち上げた「暮らしと住まい再生部会」において、基本構想のリーディングプロジェクトの一つである、「暮らしと住まいのグランドデザイン ーモデル地区(たまプラーザ駅北側地区)編ー」を策定しました。

グランドデザインは、モデル地区において多世代が住まい、活動し、交流し、働く場があるまちへと再構築していくための、モデル地区の住民、民間事業者、行政が共有するまちづくりの「目標」として、また、取り組みを進めるための「指針」として活用していきたいと考えています。



※通信に掲載の各内容の詳細はホームページにて公開しています。

<http://jisedaikogai.jp/>



横浜市



東急電鉄